

住民ディレクターフォローアップ講座 第2回目

平成 25 年 12 月 14 日

長野市ふれあい福祉センター

前回の宿題には、みなさんちゃんと取り組んでくださり、番組の企画を立ててきてくれました。まずは、それを確認しながら内容の絞込みなどより良いものにしていきます。

高橋さんからは「話したいことをしっかり絞っていきましょう」とアドバイスをもらい、持ってきた写真や動画・資料などをどのタイミングで見せるのか、ずっと後ろで流しておくのかなど一人一人確認していきます。最後にタイトルもアイデアを出し合ってつけました。



そして、全体の構成を考えて、話す順番を決め、全体のタイトルも「ながのまちの放送局 ぶっつけ本番編～うまくいっただら拍手！～」と決めました。さらに、カメラやMC、タイムキーパー、パソコン操作なども受講生で担当し、いよいよ撮影開始です。



「5秒前、4・3・2・・・スタート!」、1人5分話し、それを見たまさんとトークを3分という流れで、持ち時間は各自8分。緊張の中スタートしました。

実際語り始めると、みなさんそれはそれは素晴らしい! 想いのこもった言葉ひとつひとつがその場の空気を暖めていきます。ノンストップでカメラを回し、四苦八苦しながらも互いの物語に耳を傾けた1時間、あっという間に撮影終了～!



撮ったものをその場で観るのも住民ディレクターの楽しみの一つです。さっきも聞いた話なのに、なんでこんなに楽しいのでしょうか。笑ったり感心

したり一瞬涙が出そうになったり。映像というツールで人がつながっていく瞬間です。同じ「時」を共有することで生まれる一体感はこの活動の大切なポイントかもしれません。作品は後日 Youtube <http://www.youtube.com/user/naganoboracen> にアップしました。



最後は、時間が過ぎてもみなさんからの質問が次から次へ。でも、高橋さんはそれにひとつひとつ丁寧に熱く応えてくれます。

この盛り上がりを今後の活動に活かしてもらい、日常的な活動にしてもらえたらと思います。